

## 2023年度研究助成課題が決定しました

2023年度の研究助成は、個別研究助成58件・育成研究助成26件の応募があり、理事会で審議の結果、次の通り個別8課題、育成4課題が決定しましたのでお知らせします（応募順、申請時の所属）。2022年度に続き、育成研究助成は高い評価を得た課題が多かったため、予定より1件多く採択されました。

### 個別研究助成（1年間）

氏名	所属	課題	助成金額 (万円)
上坂 将弘	東北大学大学院生命科学研究所 助教	棘皮動物バフンウニの後期発生における遺伝子発現制御の反復傾向検証	70
水上 伊織 共同研究者：Chloé Lois Julie Fourreau	琉球大学大学院理工学研究科 博士課程1年	琉球列島における伝統的な食用イソアワモチについての聞き取り調査	70
阿波 望 共同研究者：團 重樹	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究所 修士1年	イイダコの生活史初期における索餌・捕食能力の発達過程	70
山崎 大志	高知大学日本学術振興会 特別研究員 PD	未記載種の複合体であるホリカワタマキビの系統分類：五島列島周辺における実態の解明	70
小林 格 共同研究者：日比野 麻衣	国立科学博物館 技術補佐員	知床半島産ヒトデ相に関する研究	70
金谷 啓之	東京大学大学院医学系研究所 博士課程1年	水棲無脊椎動物の睡眠フィールド調査を可能にする行動解析基盤の構築	70
和田 智竹	総合研究大学院大学複合科学研究科 5年一貫博士課程5年	日本国内のヒルガタワムシ類の多様性および生活史特性の解明	70
上地 健琉 共同研究者：八嶋 勇氣, 岡 隼斗, 北川 忠生	近畿大学大学院農学研究科 博士前期課程1年	雄型・雌型 mtDNA の比較系統地理による日本産イシガイ属の進化史	70

### 育成研究助成（2年間、金額は1年目交付額）

氏名	所属	課題	助成金額 (万円)
北 悠樹	北海道大学大学院理学院 修士2年	日本沿岸魚類に寄生する鉤頭虫の系統分類学的研究	100
中野 昂星	東北大学農学部 学部4年	コミナトワレカラにおける特異な繁殖行動の意義について—雌による子の保護行動と雄による子殺し行動の解明—	98.5
前田 友花	北里大学海洋生命科 学部4年	ミズクラゲ <i>Aurelia coerulea</i> における直達発生は母体依存か	100
川野 歩	横浜国立大学大学院環境情報学府 博士課程後期1年	浮遊性カイアシ類 <i>Paracalanus orientalis</i> を含むパラカラヌス科の産卵生態：卵生産速度と産卵行動の種間および地域間比較	98.8

### 編集後記

今号の表紙写真は、とてもカラフルなセスジミノウミウシ *Coryphellina* sp. というミノウミウシの仲間です。なかなか見ることのできない食事シーンの正面からの写真です。横に長いのが口触手、その上の多数の突起があるのが触覚です。真ん中の口付近に刺胞動物であるヒドロ虫の仲間の一部（赤い部分）が見えています。何を食べているのか分からないウミウシもたくさんいますので、こうした写真は大変貴重ですね。

今回、臨海実験所紹介シリーズ第一弾として、東京大学三崎臨海実験所をご紹介いただきました。先日、初めて実験所にお邪魔させていただく機会があり、歴史ある旧本館が取り壊されたことを知りました。見てみたかったと少し残念でしたが、現在の施設をいろいろと見学させていただき、ここで、また新しい歴史が刻まれていくのだなと感じました。